

令和4年6月24日(金)

あさひの日だまり

NO.11

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～祖父母参観日お待ちしております～

お孫さんも楽しみにしています

1年生の男子児童に「明日、おじいちゃんおばあちゃん来てくれる？」と尋ねたら、「一緒にいないおじいちゃんとおばあちゃんがね」と答えてくれました。「たまに遊びに行くの？」と聞くと「うん」という返事でした。「楽しみだね」と聞くと、うなずきながら「うん」と答えてくれました。きっと週末に遊びに行くおじいちゃんおばあちゃんが「観に行くよ」と言って下さっているのでしょう。嬉しそうにうなずいてくれた児童の表情に思わず私も嬉しくなって「よかったね!」と返しました。

私の家は専業農家でした。母親は町工場に勤めていましたので、農繁期には学校から帰ってくると家には誰もいないことが多かったです。それでも、畑仕事の手が少し空くと、祖父や祖母が私の面倒を見てくれました。おばあちゃん子という言われ方をしたりする子供でした。学校から帰ると祖母の手作りのおやつが用意されていました。昔ながらのおやつです。どんなおやつも甘く味付けされていました。宿題も祖母が見てくれたように記憶しています。週末の買い出しに、歩いて村の商店まで祖母と行きました。帰りのパン屋さんで好きなパンを買ってもらうのが楽しみでした。風邪をひいてのどが痛くなると、手ぬぐいに巻いたネギを首に巻くという手当をしてくれたのも祖母でした。

祖父母参観日に祖母が来てくれたことを覚えています。子ども心に「車を運転できないのにどうやって来てくれたんだろう」と嬉しいような申し訳ないような気持ちになりました。

途中で雨が降り出した日には、授業中にもかかわらず教室の中まで祖父が傘を届けに来てくれました。みんなの手前、照れくさくて祖父の手から「さっ」と傘を取り去り、ちゃんとお礼も言わなかったように記憶していますが、自分のことを心配して、わざわざ学校まで傘を届けてくれたことは今でも忘れられない記憶です。

子どもたちは、お父さんやお母さんのことが大好きですが、父親や母親とはまた少し違った心持で祖父母の皆さんのことを思っているように思います。使い込んだ柔らかな手に包まれると、広く深い懷に抱かれているように感じるのだと思います。そして、それはきっと安心感という感情に結びついているのだと思います。

祖父母の皆様、明日の祖父母参観日、お待ちしております。どうぞお孫さんの頑張っている様子を参観してあげて下さい。そして「頑張ってたね!」と褒めてあげて下さい。祖父母の皆様に褒められると、お孫さんはそれはそれは嬉しいものです。

祖父母参観とは銘打っていますが、お父様お母様のご来校も大歓迎です。土曜がお休みではないお勤めの方もおられると思いますが、ご都合がございましたら是非ともご来校くださいませ。「来なくていいよ!」などというお子さんもおられると思いますが、「〇〇が頑張ってるんだからその様子を見たいんだよ」といわれれば、きっと心の中では嬉しいはずです。どうぞよろしくお願いします。

～水泳の授業が始まりました～

プール開きが行われました

プール開きは6年生がプールサイドで、それ以外の児童はズームを利用して各教室から参加しました。



21日にプール開きが行われました。いよいよ本格的に水泳の授業が始まります。天気に恵まれて計画通りに授業ができて、児童の皆さんが楽しい時間を過ごせることを願っています。「先生、私ゴーグルが使えるようになって、目が開けられるから水の中が見えて水泳がとっても楽しかったよ」と話してくれる女子児童がいました。私も、息継ぎができるようになってから水泳の苦手が減ったのを覚えています。児童の皆さんが今年の水泳の授業で今までできなかったことがひとつでもできるようになって自信をつけてくれたらうれしいです。

～ボランティア委員会の皆さんが、全校から集めたペットボトルキャップをボランティアセンターへ届けました～

23日(木)に、全校の皆さんが、毎朝頑張って持参してくれたペットボトルキャップが、辰野町ボランティアセンターへ届けられました。



左の写真は、ボランティア委員会の皆さんが頑張ってペットボトルキャップの入った袋をセンターまで運んでくれている様子です。上の写真は、届けたペットボトル

の前でセンターの方からお話を聞いたところです。

私は、キャップ回収期間に、本当に多くの児童が、買い物袋にキャップをいっぱいずつめて登校してくる姿を目にして、大いに感心しました。各ご家庭では「キャップはここへ入れてね」という申し合わせがなされ、家族みんなが協力してキャップを集めて下さったに違いありません。本当にありがとうございました。

そして当日は、センターの方から「キャップ2kgで一人の人の命が救われます」というお話をお聞きました。届けたキャップの総量は115kgでしたので「57人の人の命を救えるんだ」と委員の児童がつぶやいていました。それぞれのご家庭の取組が、世界のどこかで苦しんでいる人の命を救うことに結びついています。そのことを、小さなキャップがたくさん詰められた袋を見ながらしみじみと感じました。

～久しぶりの全校で行う児童集会～

給食委員会の皆さんご苦労様

給食委員会の企画で、久しぶりに全校が体育館に集まって、児童集会が開かれました。給食への意識を高めることを目的に開催された集会です。給食に関わるクイズが10問、体育館の壁に掲示されておりました。児童たちは、なかよし班に分かれて、リーダーに導かれ、それぞれの問題をオリエンテーリングのように解いて歩きました。「えー、答えはきっと2番だよ」「そうかな～」などといいながら、楽しそうに問題を解いていました。委員の皆さんが考えてくれた問題は、なかなかの難問から、くすっと笑いたくなるような問題まで、とても工夫された問題でした。私も解答用紙をもらい、提出しました。返却されるのがとても楽しみです。給食委員会の皆さんありがとうございました。



仲良しグループで相談し合って問題に挑戦

お知らせ

辰野東小では、「あさひ相談室」(保健室)という部屋を設け、児童や保護者の皆様の悩みや相談事に応じています。窓口は養護教諭ですが、養護教諭以外の職員も相談には対応いたします。どんなことでも結構ですのでご相談がありましたら遠慮なく連絡ください。なお、電話での相談にも応じます。電話番号は0266-41-0066です。